

2018年度の事業報告と決算報告

2019年1月15日

日本機械学会関東支部シニア会会長

村上 俊明

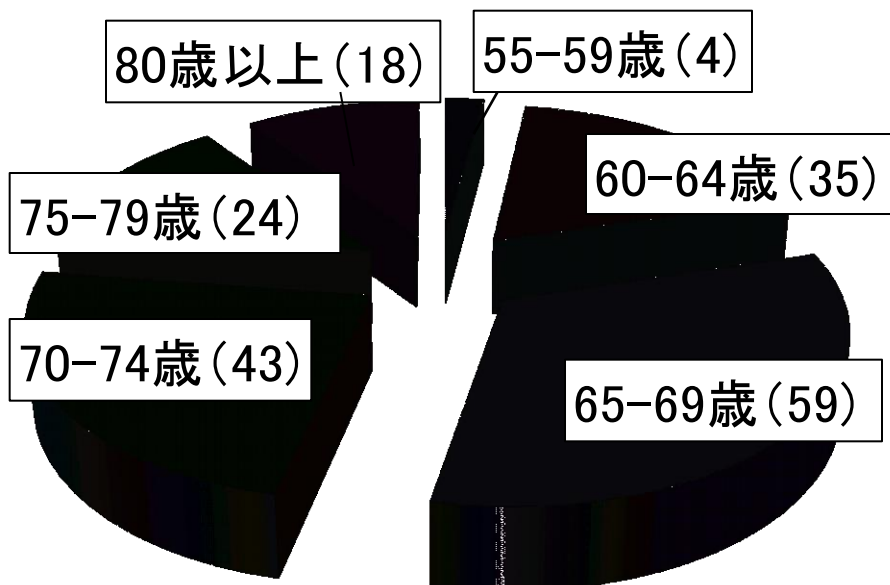
1. 関東支部シニア会登録者の現状
2. 関東支部シニア会規則と2018年度運営委員会構成
3. 2018年度事業計画
4. 2018年度事業報告
 - ・学生員卒業研究発表会コメンテータ
 - ・おもしろメカニカルワールド → 中山副会長 報告
 - ・企業支援セミナー「シニアパワーで中小企業を応援しよう」
 - ・シニア会見学会(第一回, 第二回)
 - ・関東学生会との交流会企画
 - ・シニア会2018年度特別講演会
 - ・2018年度決算報告(暫定版)
5. 2019年度運営委員会の体制案
6. 2019年度事業計画案
7. 2019年度学生員卒業研究発表会コメンテータのお願い

関東支部シニア会登録者の現状

1. 55歳以上の関東支部会員に2015年5月25日付でシニア会設立趣意書と登録依頼メールを発送(締切は2015年6月末)

2. 現状の登録状況は下記

- ・シニア会会員は設立準備総会時点で119名, その後, イベント案内等で漸増
2016年12月末で128名, 2017年12月末で140名
- ・2018年10月に55歳以上の関東支部会員(対象3,519名)にシニア会への参加を呼びかけるとともに個別に勧誘(現時点で183名)
- ・年齢構成は60歳代後半が最多, 70歳代前半, 60歳代前半の順
- ・地域構成は東京, 神奈川が多く, 千葉, 茨城, 埼玉の順
- ・200名を目標に継続的に勧誘



年齢構成(現時点)



地域構成(現時点)

(名称)

第1条 本会は日本機械学会関東支部（以下、支部）シニア会という。

(目的)

第2条 シニア会は会員相互の親睦・交流ならびに情報交換を図ると共に、学生・生徒や技術者への協力・支援を通じて、シニアの持つ経験、技術、知恵の継承に努めることにより、支部活動の支援や会員増強など、支部の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 シニア会は前条の目的を達するために次の事業を行なう。

- (1) シニア会総会、学生会との交流会、企業の技術者との交流会の開催。
- (2) 支部・学生会の要請による講師等の派遣、講習会等の企画・開催、小・中・高校生の理工系教育支援、ものづくり人材育成支援。
- (3) 中小企業に対する経営・技術支援。
- (4) その他シニア会の目的に沿う活動。

(事業年度)

第4条 シニア会の事業年度は3月1日から翌年2月末日までとする。

(会員)

第5条 満60歳以上の支部会員でシニア会会員登録をした者をもってシニア会会員とする。

2. シニア会会員は、シニア会に届出ることにより退会することができる。
3. 下記第7条の運営委員会が認めた者は、満60歳未満の者であってもシニア会会員とすることができる。
4. 下記第7条の運営委員会構成員は、満60歳未満の者であってもシニア会会員とする。

(組織)

第6条 シニア会は支部の下で活動する。

2. シニア会は重要な会務の処理のため運営委員会を設ける。
3. シニア会は事業の実施のため実務委員会を設けることができる。

(運営委員会)

- 第7条 運営委員会構成員は、会長1名、副会長若干名、幹事1名、運営委員(役職なし)若干名、監事1名、支部シニア会担当幹事1名、学生会担当幹事1名とする。なお、必要に応じて顧問を置く。
2. 運営委員会構成員は、シニア会会員の中から~~支部運営会~~シニア会運営委員会で選任し、支部運営会で承認する。ただし監事、支部シニア会担当幹事、学生会担当幹事は、支部運営会役員の中から支部運営会で選任する。また~~運営委員(役職なし)のうち若干名は、支部会員の中から支部運営会で選任する。~~
3. 会長は運営委員会構成員の互選により、副会長、幹事は運営委員会構成員の中から会長の指名により選任する。
4. 運営委員会構成員の任期は2年とし、再任は1回までとする。ただし、監事、支部シニア会担当幹事、学生会担当幹事の任期は原則1年とし、再任は1回までとする。

5. 支部との連絡および支部運営会への報告は支部シニア会担当幹事が当たる。

(実務委員会)

- 第8条 実務委員会構成員は、シニア会会員の中から運営委員会で選任する。

(総会)

- 第9条 シニア会総会は毎年会長が招集し、諸般の報告および議事を行う。
2. シニア会総会はシニア会会員の過半数の出席で成立し、出席できない会員は書面をもって議決権を委任することができる。この場合は、あらかじめ通知した事項については出席者とみなす。
3. シニア会総会の議事は出席会員の過半数で決め、可否同数のときは議長がこれを決定する。

(事業経費)

第 10 条 支部からの交付金および事業収入で支弁し、残額は支部会計に組み入れる。

(事業計画および収支予算)

第 11 条 シニア会会長は毎事業年度の事業計画および収支予算を作成し、支部運営会で承認を得たのちに、2 月末日までに支部長に提出しなければならない。

(事業報告および決算報告)

第 12 条 シニア会会長は毎事業年度の事業報告および決算報告を作成し、シニア会監事の監査を受け支部運営会で承認を得たのちに、2 月末日までに支部長に提出しなければならない。ただし、総会が事業年度終了以前の 2 ヶ月以内に開催されるときは直近の期日までの中間収支決算報告に期末における収支決算予測を加えて、当該事業年度の収支決算報告とすることができる。

(契約形態)

第 13 条 特定団体・企業等の支援にあたっては、日本機械学会シニア会通則に従うことを原則とする。

(規則の改正)

第 14 条 本規則の改正はシニア会総会で議決し、支部運営会の承認を得たのちに、支部総会で報告する。

附則

1. 本シニア会規則は 2016 年 3 月 10 日から施行する。
2. 2016 年 4 月 26 日一部改正
3. 2018 年 2 月 14 日一部改正

2018年度運営委員会構成

7/22

役職	氏名	所属
会長	村上 俊明	日本機械学会 元アドバイザー
副会長	中山 良一	工学院大学
幹事	野口 昭治	東京理科大学
顧問	本阿弥 眞治	東京理科大学
委員	嶋原 正義	中小企業ビジネス創造支援事業専門家
委員	高橋 昭夫	コンサルティメント
委員	中村 城治	中村技術士事務所
委員	笠井 憲一	元日立製作所
監事	河合 理文	日本機械学会関東支部第25期副支部長 (株)IHI
支部担当 幹事	早瀬 仁則	日本機械学会関東支部第25期会員担当幹事 東京理科大学
支部担当 幹事	山本 義暢	日本機械学会関東支部第25期学生会担当幹事 山梨大学

担当職員: 滝本 真也(関東支部事務局)

1. シニア会総会・運営委員会

当該年度の活動成果ならびに次年度の計画について報告し決定、付帯行事として講演会・懇親会を開催する

また、会務の企画・運営のために3か月に1回を目途に運営委員会を開催する

2. 支部活動に対する支援

1) 関東学生会卒業研究発表講演会への参加(2018年3月)

第57回講演会(電気通信大学)へコメンテータとして参加し学生との交流を図る

2) 理工系教育支援への参加(2018年8月)

おもしろメカニカルワールド(国立科学博物館)にシニア会として企画・出展する

3. 企業に対する技術支援(随時)

関東地区のものづくり企業への技術支援活動を実施する(継続議論)

4. 見学会・情報交流サロン(第1回5月, 第2回11月予定)

特徴のある中小・中堅企業や研究機関の見学会, これに合わせて, シニア会員の情報交流会を開催する

5. 学生会との交流会

昨年度と同様の本部交流会に加えて, 出前交流会を開催する(11月/12月)

6. シニア会主催の特別講演会(9月)

過去/現在/そして未来の時代を画す技術や話題に関する講演会を開催する

7. シニア会主催のセミナーの開催(7月)

今年度は企業への技術支援活動に関するセミナーを開催する

2018年度事業報告一覧

9/22

3月16日	学生員卒業研究発表講演会16会場に21名のコメンテータを派遣
5月29日	第1回シニア会運営委員会(本年度活動方針, 各企画案などを審議)
6月1日	第1回見学会(JR大宮総合車両センターと鉄道博物館, 参加者21名)
7月24日	関東経済産業局と連携してシニアと中小企業の橋渡しを行う「新現役交流会」に関するセミナーを開催(参加者46名)
8月7日 8日	おもしろメカニカルワールドへの企画参加(「歩行するロボットを作ってみよう」をテーマにシニア会メンバー10名指導で小中学生79名が参加)
9月27日	過去/現在/未来の時代を画す技術や話題に関する講演会を開催(今回は「機械遺産」「自動車に関する最新技術」がテーマで参加者31名)
10月16日	第2回シニア会運営委員会(見学会, 学生会との交流会などを審議)
11月14日	第2回見学会(墨田区のセイコーミュージアム(機械遺産), (株)浜野製作所(特徴ある中小中堅企業, 参加者19名)
12月7日	第3回シニア会運営委員会(今年度の活動成果, 来年度の体制と事業計画案, 今年度の収支決算と来年度の予算などを審議)
1月15日	関東支部シニア会総会を開催(本日)

学生員卒業研究発表講演会コメンテータ(1/2)

10/22

日
場

時:2018年3月16日(金) 9:15~16:00

所:電気通信大学(東京都調布市)

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
AM1	流体工学	流体工学	流体工学	熱工学	エンジン 宇宙工学	動力エネ	機械力学	機械材料	機械材料	材料力学	情報知能	マイクロ	ロボメカ	ロボメカ	バイオ	バイオ
AM2	流体工学	流体工学	流体工学	エンジン 熱工学 動力エネ	機素潤滑 スポーツ 計算力学	動力エネ	機械力学	機械材料	機械材料	材料力学	情報知能 生産シス	マイクロ	ロボメカ	ロボメカ	バイオ	バイオ
PM1	流体工学	流体工学	熱工学	熱工学	機素潤滑	設計工学 計算力学	機械力学	機械材料	機械材料 材料力学	材料力学	生産加工	マイクロ 計算力学 機素潤滑	ロボメカ スポーツ	ロボメカ	バイオ 環境工学	バイオ
PM2	流体工学	流体工学	熱工学	熱工学	機素潤滑 生産加工	設計工学	交通物流 機素潤滑 機械力学	機械材料	材料力学	材料力学	生産加工	機素潤滑 産業化学 計算力学	ロボメカ スポーツ	ロボメカ 生産シス 交通物流	交通物流	バイオ
コメンテータ	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	2

16室に21名のコメンテータが参加(聴講無料, 控室・昼食・交通費支給)

(コメンテータ感想・意見の抜粋)

1. 発表の様子

発表は上手であるが、前刷との内容の違いが年々大きくなっていると感じる
継続研究が多く担当した研究の位置付け、背景が理解されているか不安もあった
真摯に発表していたので好感が持てた

2. 質問の様子

審査員、コメンテータなど質問は活発であるが学生からの質問は相変わらず少ない
発表キャンセルなどもあったので質問時間を増やすなどの配慮があってもよい
事業経験者(コメンテータ)からのアドバイスや提言などは有用と思われる

3. 次年度に向けた意見

卒研発表会を単独開催した今回の取り組みは良かった(懇親会にも出席し易い)
講演数も多く発表範囲も広いので一室に複数のコメンテータ配置ができれば良い
研究目的、目標値と結果(達成度)、反省点と残された課題などを明確にすると良い

4. その他

懇親会まで参加し学生と話す機会が持てたことは良い企画であった
司会者が座って前に発言するのでよく聞こえない(立って聴衆を向いて発言すべき)
司会者からシニア会のコメンテータがいることの説明がありコメントし易かった
講演キャンセル率(1日のプログラムで3, 4, 5件のキャンセル)が高く対策が必要

企業支援セミナー「シニアパワーで中小企業を応援しよう」 12/22

日時：2018年7月24日(火) 15:00～17:30

場所：東京理科大学 森戸記念館 第一フォーラム

参加者：本会会員46名

シニア会と中小企業の橋渡しを行う「新現役交流会」に関し3件の講演

講演1 「新現役交流会概要説明」 関東経済産業局中小企業課係長 中村 文明 氏

講演2 「新現役交流会の舞台裏」 新現役交流会サポート代表理事 保田 邦雄 氏

講演3 「中小企業支援の実例」 マネジメントメンター登録者 嶋原 正義 氏

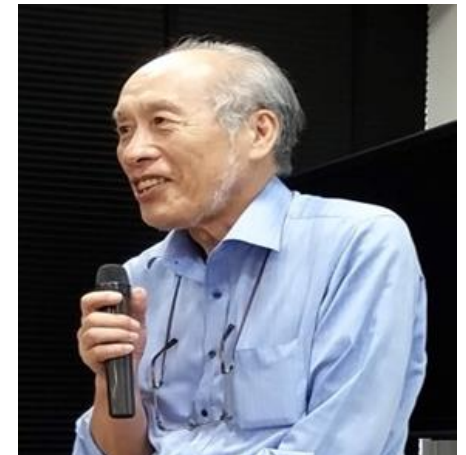
- ・地域の金融機関(信金など)が中小企業のヒアリングを実施し課題を抽出
 - ・関東経済産業局はその課題一覧を登録マネジメントメンターに送付
 - ・マネジメントメンターは支援を希望する中小企業との交流会に参加
 - ・双方が合意して支援を開始(国や自治体の専門家派遣制度の活用や個別契約)
- 登録は→ http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/chushokigyo/management_mentor.html



中村 文明 氏



保田 邦雄 氏



嶋原 正義 氏

シニア会第1回見学会

日時：2018年6月1日(金) 13:00～17:00, その後, 大宮駅周辺で懇親会
場所：東日本旅客鉄道(株)大宮総合車両センター, 鉄道博物館
参加者：見学会 21名, 懇親会 18名

1. 東日本旅客鉄道(株)大宮総合車両センター(旧国鉄 大宮工場:13:30～15:10)
本施設は首都圏のJR東日本の特急型から通勤型までの電車の点検・修繕・改造を担当している。タイミング的に入構している車両は多くはなかったが、整理整頓も進み、良き伝統を守り育てている雰囲気が見えた
2. 東日本鉄道文化財団 鉄道博物館 (15:30～17:00)
1872年(明治5年)の鉄道開業時に輸入された一号機関車から最近の新幹線車両まで、鉄道技術発達史を飾る代表的な数多くの実物車両や技術資料が展示され、昔を思い出す鉄道ファンも多かった



東日本旅客鉄道(株)大宮総合車両センター

シニア会第2回見学会

日時：2018年11月14日(水) 12:00～17:00, その後, 押上駅周辺で懇親会
場所：セイコーミュージアム, (株)浜野製作所の2か所
参加者：見学会 19名, 懇親会 15名

1. セイコーミュージアム(13:10～14:10)

日本が誇る精密機械技術の粋である国産腕時計(本会認定機械遺産)が展示され16世紀に宣教師によって伝えられた時計を, 試行錯誤を重ね, 現在の高度な技術へと高めてきた歴史には参加者一同感銘したとの感想

2. (株)浜野製作所(15:00～17:00)

大田区と並ぶ製造業集積地の墨田区の中で金属加工技術を核とした, 現在, 注目されている中小企業である. 新しいモノづくりにチャレンジするとともにベンチャー企業育成にも取り組むなど, 社長の事業に対する情熱や熱い話しぶりに感銘したとの感想(現場などが綺麗すぎて生活感に欠けるとの印象も)



セイコーミュージアム



(株)浜野製作所

関東学生会との交流会企画

昨年度の学生会との交流会(茨城大学での出前交流会と本部交流会)の反省を踏まえ、今後の交流会のありかたについて学生会と下記の議論を実施

1. 日時

2018年度は今後の交流会の在り方を検討する時期とし、2019年度に5月の学生会会員校会場の場(50名程度の会員校運営委員が参加)を交流の機会とする

2. 交流会のテーマ案

学生会のアンケート結果では、各職種に求められる役割と責任、機械系技術者として必要とされる知識と実際、経験談に基づくキャリアパスの実例、企業組織や企業で活躍するためのアドバイスなどの要望が多く、幅広い職種を経験したシニア講演者(2名)とシニア会の活動概要、Q&Aなど全体90分程度を計画する

期待する講演内容	対象の業務分野							講演者(経験場所)			アンケート数	
	教育	研究	設計	生技	品証	製造	保守	産業分野	研究機関	教育機関	票数	スコア
職種の種類とそれぞれの役割・責任の解説と実際の仕事内容(経験談を含めて)		6	4	3	1	3	1	6			18	138
			1						1		1	9
機械系技術者として必要とされる知識と実際		1	1	1	1			4			3	48
		1	1						2		3	22
経験談に基づくキャリアパスの実例(就職ーキャリアパスー定年)	1		1	1	1	1		5			7	23
		1		1					2		3	19
	1									1	1	3
企業の求める人物像			1	1	1			3			3	18
企業で活躍するために必要なこと			1		1		1	3			3	16
企業組織とはどのようなものか			1						1		1	4
企業におけるキャリアパスとはどのようなものか					1				1		1	2
数字はアンケート回答者合計数											44	302

日時 : 2018年9月27日(木) 15:00~17:20, その後, 講師を囲んだ懇親会を開催
場所 : 東京理科大学 森戸記念館 第一フォーラム
参加者 : 本会会員 31名

1. 趣旨

過去/現在/そして未来のそれぞれの時代を画す技術や話題をシリーズで取上げることとし, 今回は2017年度に続き2回目

- ・ 日本機械学会「機械遺産」認定の経過と今後への課題
茨城大学 特任教授 堤 一郎 氏
- ・ 自動車技術を取り巻く研究開発の最新動向
(財)日本自動車研究所(JARI)代表理事・研究所長 永井 正夫 氏

2. アンケート結果

- ・ 機械遺産の講演に関してはその意義について認識を新たにするも, その遺産の継承活動については危惧するとの意見
- ・ 自動車の未来技術については技術課題も多岐にわたり, 焦点が絞り切れなかった(もう少し専門的な話もとの意見も)
- ・ 今回から講師を含めて懇親会を開催したが良かったとの意見
- ・ 今後希望する題目は多岐にわたるが,
過去: たたら製鉄, 機械技術者教育, 電子化と機械製品の変貌
現在: 電気自動車, 最近のロボット技術, IoT
未来: AI, エネルギー技術, 水素社会, 宇宙開発 など



講師 茨城大学
堤 教授



講師 JARI
永井 代表理事

関東支部シニア会決算報告(暫定版)

収入の部

費目	予算額	決算額	
支部からの補助金	200,000	200,000	
特別講演会懇親会費	0	66,000	3,000 × 22名
総会懇親会参加費	80,000	52,000	2,000 × 26名
合計	280,000	318,000	

支出の部

費目	予算額	決算額	摘要
旅費交通費	30,000	43,150	
総会会場費	20,000	22,225	
総会懇親会費	120,000	81,000	
特別講演会費	50,000	143,293	
見学会費	30,000	6,480	
雑費	10,000		
予備費	20,000		
合計	280,000	296,148	

(その他のシニア会関係発生費用)

費目	支出	収入	摘要
卒業研究発表講演会	22,680		昼食 交通費
	55,839		
おもしろメカニカルワールド		39,500	参加費 500 × 79名 材料費, 輸送費等
	145,201		
合計	223,720	39,500	

2019年度運営委員会の体制案

18/22

関東支部シニア会規則の改定案を踏まえて2018年度のシニア会の体制案は下記とする

(シニア会運営委員会で選任)

会	長	村上 俊明
副	会 長	—
幹	事	野口 昭治
顧	問	本阿弥 眞治
顧	問	中山 良一
委	員	嶋原 正義
委	員	高橋 昭夫
委	員	中村 城治
委	員	笠井 憲一

以上、任期は2年とし再任は1回まで(顧問除く)

(支部運営会で選任)

監	事	吉村 卓也(首都大学東京/第26期副支部長)
支部担当幹事		塚田 竹美((株)本田技術研究所/第26期会員担当幹事)
支部担当幹事		高橋 直也(東京電機大学/第26期学生会担当幹事)

以上、任期は原則1年とし再任は1回まで

1. シニア会総会・運営委員会

1) シニア会総会の開催

当該年度の活動成果ならびに次年度の計画について報告し決定、付帯行事として特別講演会・懇親会などを開催、会務の企画運営のために運営委員会を開催する

2. 支部活動に対する支援

1) 学生員卒業研究発表講演会(2019/3/18)

第58回講演会へコメンテータ・審査員として参加し学生との交流を図る

2) 理工系教育支援(8月)

関東支部「機械の日」イベントにシニア会として出展を企画・実施する

3. ものづくり企業に対する技術支援(随時)

関東地区のものづくり企業への技術支援活動を実施する(継続議論)

4. 企業見学会・情報交流会(5月と11月予定)

特徴のある中小・中堅企業の見学会とシニア会員の情報交流会を実施する

5. 学生会との交流会(2019/5月)

関東学生会会員校会の場を利用して学生会との交流会を実施する

6. シニア会主催の特別講演会(9月予定とし継続実施する)

過去/現在/そして未来の時代を画す技術や話題に関する講演会を開催する

7. その他(7月に計画)

2019年度はシニア会員の活動の相互紹介に関連したイベントを開催する

8. 2019年度予算

支部から増額頂き300,000円(残額は支部会計に組み入れ)

学生員卒業研究発表講演会コメンテータのお願い(1/2)

20/22

1. 日程: 2019年3月18日(月) 9:00~15:00 今回は支部総会・講演会と併催
2. 会場: 千葉工業大学津田沼キャンパス(最寄駅 JR総武線 津田沼駅前)
3. 講演室数: 16室(講演数: 314件) (前は16室, 317件で今回も同規模)

講演室	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		
AM1 9:00~ 10:15	機械 力学4	交通 物流1 機械 力学2	機械 力学2 ロボ メカ1 交通 物流1	環境 工学1	機素 潤滑3	生産 シス2 生産 加工1 機素 潤滑1	バイオ4	マイ クロ1 スポ ーツ3	設計 工学1 マイ クロ2	機械材料2 マイクロ1 情報知能1 産業化学1	機械 材料3 機械 力学1 材料 力学1	材料 力学5	流体 工学4	熱 工学1	熱 工学1 流体 工学3 宇宙 工学1	流体工学2 材料力学1 熱工学1 動力エネ1		
	ロボ メカ1	ロボ メカ2	機素 潤滑4	生産 加工1	スポ ーツ1	バイオ1	バイオ2	宇宙工学1 生産シス1 環境工学1 バイオ1 機械材料1	熱 工学2 流体 工学2 動力 エネ1	熱 工学2 流体 工学2 エンジン1	熱 工学3 流体 工学2		動力 エネ1 宇宙 工学1 流体 工学3					
AM2 10:30~ 11:45	機械 力学3 ロボ メカ1 技術と 社会1	ロボ メカ4	交通 物流4	機素 潤滑4	設計 工学1 機素 潤滑1 生産 加工2	バイオ4	バイオ3 ロボ メカ1 情報 知能1	バイオ4	マイ クロ4	材料 力学1	機械 材料4 計算 力学1	材料 力学5	熱 工学2 流体 工学2 動力 エネ1	熱 工学2 流体 工学2 エンジン1	熱 工学3 流体 工学2	動力 エネ1 宇宙 工学1 流体 工学3		
	ロボ メカ2	機械 力学1	機素 潤滑4	環境 工学1	計算 力学1	バイオ5	バイオ2 設計 工学1 マイ クロ2	マイ クロ1	機素 潤滑3	バイオ2 情報 知能1	機素 潤滑3		機素 潤滑3	機素 潤滑3	機素 潤滑3	機素 潤滑3	機素 潤滑3	
PM1 12:15~ 13:30	機械 力学3	ロボ メカ5	宇宙 工学4	機素 潤滑4	機素 潤滑3	バイオ4	バイオ5	バイオ2	機素 潤滑3	機素 潤滑3	機素 潤滑3	機素 潤滑3	機素 潤滑3	機素 潤滑3	機素 潤滑3	機素 潤滑3		
	ロボ メカ2		ロボ メカ1	生産 加工1	生産 加工1	計算 力学1		設計 工学1 マイ クロ2	マイ クロ1	機素 潤滑3	機素 潤滑3		機素 潤滑3	機素 潤滑3	機素 潤滑3	機素 潤滑3	機素 潤滑3	機素 潤滑3
PM2 13:45~ 15:00	情報 知能1	ロボ メカ5	ロボ メカ1	機素潤滑1 機械力学1 生産加工2 ロボメカ1	機素 潤滑2	情報 知能1	設計 工学1	設計 工学1	情報 知能1	機素 潤滑3	機素 潤滑2	機素 潤滑3	機素 潤滑3	機素 潤滑3	機素 潤滑3	機素 潤滑3		
	ロボ メカ2		宇宙 工学4	生産 加工2	生産 加工2	バイオ4	バイオ2	マイ クロ3	機素 潤滑2	機素 潤滑2	機素 潤滑2		機素 潤滑2	機素 潤滑2	機素 潤滑2	機素 潤滑2	機素 潤滑2	機素 潤滑2
	機械 力学2		ロボ メカ1	機素潤滑1 機械力学1 生産加工2 ロボメカ1	機素 潤滑2	情報 知能1	設計 工学1	設計 工学1	情報 知能1	機素 潤滑3	機素 潤滑2		機素 潤滑2	機素 潤滑2	機素 潤滑2	機素 潤滑2	機素 潤滑2	機素 潤滑2

- ・ 学生会からは学生への応援コメントを, また, 全室へのシニアの参加を期待
- ・ あまり専門性に拘らず「終日単位」で「どこでも可」として選んで頂くと助かります
- ・ 今回から優秀発表賞の審査員(3名のうち1名)を依頼されています
- ・ 交通費は申請により支給, 関係者控室と昼食を準備
- ・ 講演会後の支部総会, 特別講演会, 懇親会(参加費1,000円)にぜひご参加を

(優秀発表賞の審査)

【審査員用】

第58回学生員卒業研究発表講演会
学生優秀発表賞 (BPA) 採点表

最高得点者が複数いた場合の順位記入欄

講演第 _____ 室 講演番号 _____

1. 総則

- ・学生優秀発表賞(BPA)は卒業研究発表講演会における優秀な講演者に贈賞
- ・BPAの贈賞数の上限は特に設けないが卒業研究発表講演会の2セッションを通じて、以下に定める審査により選出
- ・受賞者は懇親会席上関東支部長あるいは学生会担当幹事より贈賞する

2. 受賞者の選出

- ・受賞者の選出を行うためにBPA審査委員会(原則、学生会担当幹事2名)を設置
- ・受賞者の選出は、審査委員会にて選出の審査員(合計3名で1名がシニアコメンテータ)
- ・採点表は、審査委員会において審議の上、当該卒業研究発表講演会において配付する(左記)
- ・採点表はセッションごとに集計し各会場の計時係は審査委員会に報告する

項 目	得 点				
	良い ←			→	悪い
(発表時)					
声の大きさ	5	4	3	2	1
流暢に話しているか	5	4	3	2	1
スライド等をうまく使って発表しているか	5	4	3	2	1
発表態度(視線, 立ち位置, 落ち着き等)	5	4	3	2	1
意図が伝わっているか	5	4	3	2	1
(全体)					
本質的な理解が感じられるか	5	4	3	2	1
内容が一貫しているか	5	4	3	2	1
時間配分	5	4	3	2	1
全体の印象	5	4	3	2	1
(質疑応答時)					
質問に的確に答えているか	5	4	3 (*)		
{ * 質疑の無い講演については 3点を付けて下さい }					
小 計					
総 計					

注1. 採点の無い項目は点数が0になります。必ず点数を付けて下さい。

注2. 小計、総計は計算していただきたくお願いいたします。

注3. 最高得点者が複数いた場合には、その順位を右上の欄にご記入下さい。

注4. 採点後は講演室係にお渡し下さい。

5点: 受賞に値する(是非受賞者として推薦したい)。
4点: 受賞に値する(受賞者として推薦してもよい)。
3点: どちらとも言えない(中庸である)。
2点: 若干劣る面がある(改善すべき点が見られる)。
1点: 劣る面がある(改善すべき点が多々見られる)。

日程が切迫している卒研発表講演会コメンテータへの積極的なお申込みをお願いします(別途, メールでご案内済み)

来年度もシニア会活動へのご支援・ご協力をよろしくお願い致します！！